

耐震製品を公開実験 保全分野の取組強化 横河ブリッジHDグループ



横河ブリッジホールディングスグループは、1月25日、千葉市美浜区の同社実験センターで耐震

製品公開実験を開催した。実験には発注機関、コンサルタントなど50人以上が来場した。

同グループは9つの耐震製品を保有（表）。制震ストッパーなどの制震デバイスにより地震力を低減し、補強量を抑制するなど実績を挙げてきた。

今回の公開実験では、ねじりリンクダンパーの実験（ねじり降伏型ダンパー）とガセットダンパー（せん断降伏型ダンパー）の2点について実験を公開。他の7点も展示した。

50（最小サイズ）に対して、正負交番繰り返し最大耐力および繰り返し耐久性が管理目標値を確保できていることを確認した。同製品は低降伏点鋼管がねじり塑性変形することで、L2地震3回分の地震エネルギーも吸収できる鋼製ダンパー。ガセットダンパーも大型試験装置による載荷実験を行った。アーチ系橋梁に適したせん断パネルダンパーで、西日本高速道路が所管する阪和道

の西池橋などで実績がある。

同グループは、耐震製品の売上を年間5億円程度に増やしたい考え。

またこうした製品の内製化は得意の鋼製品だけでなく、その他の素材の開発にも取り組んでいく考え。国土強靱化政策の進展や橋梁補修補強案件の発注方式の変化（土木から鋼橋上部工へ）なども踏まえて、グループ全体で保全分野を強化していく。

（井手迫瑞樹）

横河ブリッジ HDG の耐震製品

製品名	NETIS 番号
制震ストッパー	KT-070026-A
ねじりリンクダンパー	KT-100104-A
パワーダンパー	TH-120010-A
ガセットダンパー	KT-090069-A
SUB(座屈拘束ブレース)	TH-110015-A
ピン定着型落橋防止	KT-110088-A
パワーチェーン	KT-120041-A
パワーストッパー	HK-120002-A
パワースタンド	